



芸大通信 .

京都市立芸術大学広報誌

2008 年度 8 月

Vol.010

学長から受験生の皆さんへ



学長 潮江 宏三

京都市立芸術大学は、1880年に「日本最初京都画学校」として誕生し、130年近い歴史を積み重ねてきた伝統ある大学です。戦後誕生した市立音楽短期大学を音楽学部として加えて、総合的な芸術大学となってからも、すでに40年近く経過し、まさに豊かな実りのときを迎えています。さらに、近年は、美術・音楽の両大学院の整備はもちろんのこと、日本伝統音楽研究センターも備え、芸術の高等教育研究機関としての体制を整えてきました。このように、日本の近代化の歩みと重なり合う京都市立芸術大学の歴史は、文字通り、日本近代芸術の歴史そのものであると誇り得るものです。

そのようななかで、わたしたちは、芸術が変わることのない人間的な営みであることを確信しつつ、常に感性の自由な働きを可能にする心の構えの醸成に配慮し、時代の変化を鋭敏に受け止め、次代を担う若者、とりわけ数多くの芸術家を送り出してきました。その成果として、伝統を踏まえつつ新しい、「京都芸術」を創造し続けていることはもちろんのこと、ことにコンテンポラリーのアートシーンでの京都芸大の評価は、年々高まっています。

このような京都芸大の活動は、国際的にも評価され、そのことは、英国王立美術大学、パリのエコール・デ・ボザール、ウィーン国立音楽大学等々、世界の第一級の芸術系大学との交換留学を含む連携協定という形となって表れています。

わたしたちは、これからの若い世代の人たちが、最高の芸術の学びの場である、美と文化の町、京都の伝統を引き継いだ京都芸大に集い、「京都芸術」の系譜に連なり、さらには先輩たちの足跡を超えて歩むようになることを期待しています。京都芸大は、芸術の学びにとって最高の場を提供できるものと確信しています。そして、さらに世界へと繋がる道を切り開いてみませんか。

近年の本学関係者の主な受賞歴等（在校生・卒業生）

美術学部・美術研究科

小鍵康子（博士1回生）平成19年度 京都日本画家協会賞
森口邦彦（S.38卒）人間国宝
黒川 徹（修士1回生）第28回 長三賞現代陶芸展 長三大賞
堂本尚郎（S.24卒）平成19年度 文化功労者
西野陽一（S.53卒）平成19年度 京都府文化功労賞
林 潤一（S.41卒）平成19年度 京都府文化功労賞
吉岡一哉（H.16卒）準朝日広告賞
池上典衣（修士2回生）第25回 ザ・チョイス大賞
森村泰昌（S.50卒）平成19年度 芸術選奨文部科学大臣賞
宮永東山（S.33卒）平成19年度 京都市芸術功労賞
福本双紅（H.11卒）平成19年度 京都市芸術新人賞
金田勝一（H.7卒）平成19年度 京都市芸術新人賞
井川 健（H.17卒）第26回 朝日現代クラフト展 優秀賞

音楽学部・音楽研究科

山根明季子（H.18院卒）第75回 日本音楽コンクール 作曲部門 第1位、増沢賞、明治安田賞
増田真結（修士3回生）第23回 日本現代音楽協会作曲新人賞
河内仁志（H.18卒）第75回 日本音楽コンクール ピアノ部門 第1位、野村賞、井口賞、河合賞
川原慎太郎（修士1回生）第7回 堺国際ピアノコンクール 一般部門 第1位
類家 唯（H.18卒）第6回 かずさアカデミア音楽コンクール 第1位
久保千尋（H.15卒）第3回 東京芸術センター記念ピアノコンクール 金賞
東 珠子（学部2回生）第1回 宗次エンジェル・ヴァイオリン・コンクール 第6位
次田心平（H.13卒）第24回 日本管打楽器コンクール チューバ部門 第1位
菊本和昭（H.16卒）リエクサ国際トランペット・コンクール（フィンランド）第3位
八木寿子（H.16院卒）友愛ドイツ歌曲コンクール 第1位、文部科学大臣奨励賞、
日本R.シュトラウス協会賞
河出綾子（H.19院卒）新人賞選出にわ新人競演会 新人賞（最高位）
浦田恵子（修士2回生）全日本学生音楽コンクール 大阪大会 第1位

今年度の本学関係者の展覧会（京都国立近代美術館）

- 生誕100年記念 秋野不矩展 平成20年4月8日（火）～5月11日（日）
- 没後10年 下村良之介展 平成20年7月29日（火）～8月31日（日）
- 「上野伊三郎・リチ コレクション」新収蔵記念 ウィーンから京都へ、建築から工芸へ 平成21年1月6日（火）～2月8日（日）

本学では、新しい芸術を生み出すための基礎力は、自由な発想と思考力の育成、そしてそれを支える表現力であると考えています。知識と思考が想像力の視野を広げ、奥行きを深めるものと捉え、学科教育の充実にも力を入れています。もちろん、芸術創造において欠かすことのできない自主性を養うことも重視しています。

また、音楽学部・美術学部ともに学生数が少人数であり、それゆえに、学生同士はもちろん、学生と教員とのつながりも深く、卒業後もなお交流が続く事は珍しくありません。

そして、両学部ともに発表する機会が多いことは、本学の教育の大きな特徴と言えます



美術学部

入学後すぐ、実技授業「総合基礎」が始まり、全科そろって共通の課題に取り組みます。ここでは受験勉強の段階で植え付けられた美術に対する既成概念をまず打ち砕き、視野を広げることができる、他大学にはないユニークなカリキュラムです。また、総合基礎はグループで行う課題制作が多く、ここでの科を超えた交流は、それぞれの科に進んだ後も継続され、互いの制作や研究に刺激を与え合う等の深いつながりが生まれるきっかけとなります。

また、実技の指導教員の多くが現在活躍している芸術家やデザイナーで、その経験を活かした指導が行われており、学生の制作スペースも一人一人に確保されています。講義を担当する学科の教員も、それぞれの分野で水準の高い実績を挙げている研究者で、芸術に深い共感をもちつつ、教育にあたっています。

年に1度、京都市美術館で開催される作品展は、1回生から大学院修士2回生までの作品が展示されます。これは学生数の少ない本学だからこそ実現できる大きな特徴であり、学生は早くから美術館での展示を経験することで、展示に必要な空間把握を習得できます。

卒業後の進路は、アートというジャンルゆえに、すべての学生が就職を目指す訳ではありませんが、例えばデザイン科は高い就職率を誇っており、他科・他専攻においても、一流企業・有力企業に就職している卒業生が多くみられます。また、卒業後さらに専門の勉強をする場合には大学院修士課程、博士（後期）課程へ進学する人もいます。芸術系大学やアトリエなどで教員をしながら創作活動を継続する卒業生も多く、国内外で活躍する芸術家やデザイナーも次々と登場しています。

音楽学部

大枝の豊かな自然に囲まれた環境と、少人数でアットホームな雰囲気のなかで、自分のペースを崩さずに音楽と向き合えることが一番の魅力です。また京都という文化財に満ち溢れた街や、同じキャンパス内にある美術学部から様々なインスピレーションを受けることができます。一学年60名という少人数だからこそ、学年・学部を超えての学生同士の交流が多く、さらに学生と教員との交流、卒業生との繋がりも多くあります。

第一線で活躍する現役の音楽家や研究者である指導教官から直接レッスンを受けられることは、学生にとって貴重な経験となります。

演奏活動に関しては、カリキュラムとして各専攻とも豊富な演奏機会が設けられています。管弦打楽専攻全学生が参加するオーケストラによる定期演奏会や、声楽専攻によるオペラ公演をはじめ、大学（学部）主催の学内外での演奏会が非常に多く（2008年度の主な学外演奏会は13回）、参加できる演奏会が多数あります（音楽学専攻除く）。また、演奏旅行など学生の自主的な演奏活動も活発です。

学部卒業後は、オーケストラ所属や、オペラへの出演など、プロの演奏家として活躍する者、また音楽教育者、研究者として学術的な道に進む者、あるいは音楽制作の分野に携わる者など、卒業生の殆どが何らかの形で音楽を生業としています。また、大学院修士課程、さらには博士（後期）課程に進学し、より専門的な教育を受けるチャンスもあります。

著名な卒業生としては、佐渡裕氏（指揮者、管打楽専攻卒）、阪哲朗氏（指揮者、作曲専攻卒）らが挙げられます。

在校生インタビュー



奥田 一生

美術学部
美術科
版画専攻
3 回生



高校生活について教えてください
高校では最初は吹奏楽でトランペットを。その後美術へ。
京都芸大を選んだ理由は？
通える距離。授業料が安い。
京都芸大で学んでみて良かったことは？
違う科の人とも友達になれる。
創作が行き詰まったときの対処法は？
ひたすらクロッキーか運動、友達と暴れる。
京都芸大でのいちばんの思い出は？
友人とグループ展を初めて開いたこと。
これからの展望、夢は？
絵を描きつづけ、それが仕事につながること。
ちなみに、学食のオススメは？
うどんとか、カツ丼とか。
最近、気になることを教えてください
人の顔の特徴探し。



田守 洋介

美術学部
デザイン科
ビジュアルデザイン専攻
4 回生



京都芸大を受験した理由は？
何を学ぶのかよくわからない学部に行くより、はっきりと「作品」という形で残るようなことを学びたかったから。「美大でいいところ」を探したら、京芸に行きつきました。
京都芸大で学んでみて良かったことは？
パソコンを使ったり、小綺麗にまとめていくようなもののみでなく、より直感的にモノを作っていくようなカリキュラムになっていたところ。そして1回生の時、美術・デザイン・工芸と、全ての科が集まって制作出来るところ。あとは（アホだけれど）レベルの高い友人がたくさんいるところ。
就職先、または卒業／修了後の予定は？
大手ゲーム会社のデザイン職に就職予定。
これからの展望、夢は？
「個人」として強くなること。目指すは世界で勝負できるクリエイター。



井ノ元 美沙

美術学部
デザイン科
プロダクトデザイン専攻
4 回生



高校生活について教えてください
高校もデザイン科でした。午前中の勉強はそこそこに、昼からの制作を楽しくがんばっていました。京都道中膝栗毛部という京都を巡る部を作って活動していました。
京都芸大を選んだ理由は？
家から通える公立だったこと。費用の面。少人数で学べる環境であることなど。
京都芸大で学んでみて良かったことは？
様々なことを経験した上で専攻を選べたこと。
創作が行き詰まったときの対処法は？
図書館に行って雑誌や本を読む、または寝る。
京都芸大でのいちばんの思い出は？
芸祭の模擬店。
就職先、または卒業／修了後の予定は？
大手住宅設備会社に就職予定。
これからの展望、夢は？
地域にかかわるプロダクトや、子どもに目を向けたもの作りがしたい。
ちなみに、学食のオススメは？
卵あんかけそば。
最近、気になることを教えてください
アートワークショップ、子どもキャンプ、植物。



須藤 絢乃

美術学部
美術科
構想設計専攻
4 回生



京都芸大で学んでみて良かったことは？
1回生の初めにある総合基礎でのグループ制作では、自分では考えも付かなかったメンバーのアイデアに非常に刺激を受けました。当時は初めての世界で戸惑うことも沢山ありましたが、この授業で物事を作り上げる面白さを知りました。構想設計での写真の授業で触ったことも無かった一眼レフのカメラを使い始め、それが今では写真がメインの表現方法になるほどの大きな出会いがありました。
創作が行き詰まったときの対処法は？
様々な人と語り合っただけで知らない世界に触れると気持ちが晴れて、もっと頑張らなければ！という気分になります。時々自宅近くにある砂浜にジョギングしながら朝陽やカモメの群れを見に行きます。
京都芸大でのいちばんの思い出は？
芸祭でファッションショーに参加したこと。先輩の誘いで展覧会に出させて頂いたこと。
最近、気になることを教えてください
Lindy Hop という 1920 年代から 40 年代にかけて流行したダンス。時間に余裕があればいつか習いに行きたいとも思っています。



在校生インタビュー



京都芸大で学んでみて良かったことは？

1回生の頃は科や専攻に分類が無く、ごちゃ混ぜのクラスなので、たくさんの友達と共に学ぶ事が出来ます。専攻に分かれてからも他の専攻の人たちと仲良く交流が出来、お互いを刺激し合えるので、とても良い学校だと思います。

受賞・入賞歴

3回生の作品展で奨励賞をいただきました。

京都芸大でのいちばんの思い出は？

3回生の芸祭の時に「カレーとナンのお店」を陶磁器のメンバーで出店し、成功させた事です。カレーはもちろん、ナンを焼くためのナン窯までも、皆の力を合わせて作りました。苦労も多かった分、今となってはいちばん楽しかった思い出です。

ちなみに、学食のオススメは？

月見三色そば。安くて栄養も摂れるのでオススメです。

最近、気になることを教えてください

原油価格高騰。けれど、無駄遣いが多い私たち現代人にとっては、生活を見直す良い機会になるのかも知れません。

片岡 七美

美術学部

工芸科

陶磁器専攻

4回生



京都芸大で学んでみて良かったことは？

今まで出会ったことのないような素敵な人たちに会えたことです。大学生活も、制作時間においても、気の合う京芸生たちの存在はとても大きいです。そして大学の先生方は、宇宙のように広い心で私たちを包んでくださいます。そんな恵まれた環境でのびのびと制作が出来るということに、心から感謝しています。

京都芸大でのいちばんの思い出は？

芸大祭で全てのイベントに参加し、3日間ステージに登場し続けたことです。ステージで司会をしたり、パフォーマンスをしたり、自ら参加しまくることで最高に楽しめました。芸大祭は毎年一番楽しいイベントです。芸大祭によって得たものは、今の私の、とても大事な部分を作り上げてくれました。

就職先、または卒業／修了後の予定は？

大手玩具メーカーに就職が決まっています。京芸で培った「ものを作るパワー」と、芸大で学んだ「たくさんの人を楽しませる力」を活かして、就職しても頑張ります！



吉田 千穂

美術学部

工芸科

染織専攻

4回生



京都芸大で学んでみて良かったことは？

第一線で制作活動をしている先生方の空気を直に感じる事が出来る場所。

この人たちを超えてゆきたいと、燃えます。

創作や研究が行き詰まったときの対処法は？

解消、対処法というのはいりません。

「行き詰まっても、やる」という構えです。

京都芸大でのいちばんの思い出は？

小嶋悠司先生に叱られた事と、竹内浩一先生との関わりです。小嶋先生には制作の熱の「質」を変えていただきました。竹内先生には、その熱をさらに加熱していただいたように思います。

これからの展望、夢は？

一作一作、しっかりと仕事をし、眼を磨き、確かな実力をつけていきたいです。夢は“日本画の果て”へ至る絵を描ける作家になることです。

ちなみに、学食のオススメは？

チキンカツかカツ丼か、親子丼。

最近、気になることを教えてください

他の同世代。

石田 翔太

大学院美術研究科

絵画専攻

日本画

修士1回生



京都芸大で学んでみて良かったことは？

1回生での総合基礎実技は、専攻の枠にとらわれることなく、表現する楽しさ、自分の新たな可能性を知れた貴重な時間だったように思います。専攻に入ってから、いい意味での放任。場所と時間を、自分の制作のために、フルに使うことができます。学生が少ないので、上回生や教授たちとの距離も近いこともとても刺激的です。

受賞・入賞歴

京都市立芸術大学 2007 年度作品展市長賞

創作や研究が行き詰まったときの対処法は？

休みます。雑誌見たり、出かけたり、ぼーっとしたり…。そして寝ればすっきりします。

京都芸大でのいちばんの思い出は？

朝から晩まで、制作をしていること。

これからの展望、夢は？

この先、自分の作品がどう変化し展開していくのか、わからないのがまた楽しみです。まずは続けていくことだと思います。



厚地 朋子

大学院美術研究科

絵画専攻油画

修士2回生

在校生インタビュー



京都芸大で学んでみて良かったことは？
人数が少ないので先生との距離も近く、学生同士のつながりが深い。卒業生の方と知り合う機会も多いし、縦にも横にもつながれるのがすごいと思います。人脈が広がったことはもちろん、デザイン以外のジャンルに対しても知識や価値観を広げられることが、自分にとってとてもプラスになっています。



受賞・入賞歴
作品展では、奨励賞（3回生／修士1回生）と市長賞（4回生）をいただきました。
創作が行き詰まったときの対処法は？
私の場合、考えに考えてもう無理ってところまで追いつめられて、ぱっとアイデアが浮かぶことが多いので、集中できる環境が大事なんだと思います。

古川 きくみ

大学院美術研究科
環境デザイン専攻
修士2回生

京都芸大でのいちばんの思い出は？
やっぱり制作してきた時間が一番大きいと思います。特に作品展は毎年あって大変だし、精神的にも体力的にも辛いけど、その分の思い入れも深く、終わった後の満足感も大きいです。今年でいよいよ最後なのが寂しいけど、卒業しても見に来ようと思います。



高校生活について教えてください
男子校で、皆個性が強くて、良い高校生活でした。
京都芸大を選んだ理由は？
美術が好きだったから。
京都芸大で学んでみて良かったことは？
好きなことをしていることです。



創作や研究が行き詰まったときの対処法は？
趣味の時間を持つことです。私の場合は銭湯に行くことです。
京都芸大でのいちばんの思い出は？
初めて自分の作品が出来た時です。
修了後の予定は？
作家活動。
これからの展望、夢は？

染谷 聡

大学院美術研究科
博士（後期）課程
美術専攻 漆工
1回生

作家。
ちなみに、学食のオススメは？
うどん（冷）。
最近、気になることを教えてください
廃墟巡りです。



京都芸大を選んだ理由は？
社会と芸術を結びつけることを学びたいと思い、経済学で学ぶのか芸術学で学ぶのか迷った結果、京都芸大を選びました。



京都芸大で学んでみて良かったことは？
いい意味でマイペースで進められること。自分と向き合う時間がたくさんあったと思います。逆を言えばしっかりと自分を持たないと周りに流されると思います。
京都芸大でのいちばんの思い出は？
カナダへ交換留学生として派遣させてもらったことが一番の思い出です。カナダでいろんな知識や経験を得る事で、帰国してから今までは違ったもの見方や考え方で研究をするようになったので、いい体験をさせていただきました。

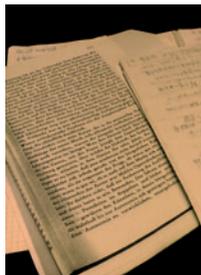
森 真琴

美術学部
総合芸術学科
4回生

創作や研究が行き詰まったときの対処法は？
本を読んだり、映画を見たりなど、研究とは関係のないことをします。そうした他の経験が役に立つと思っています。
最近、気になることを教えてください
経営学、経済学等。



高校生活について教えてください
授業が7限までであり、部活動は盛んではなく、文化祭もありませんでしたが、みんな仲良く楽しい高校生活でした。とても多忙な毎日でしたがピアノとクラリネットは続けていました。



京都芸大を選んだ理由は？
学部を他の大学の文学部で過ごしたのですが、3回生の時に開講されていた龍村あや子教授の講義を受講したことがきっかけです。
研究が行き詰まったときの対処法は？
音楽や研究から少し離れて、自分をリセットするようにします。時間に余裕がある時は京都の寺社を訪ねたり、自然豊かな嵐山に出かけたりします。

鈴木 利奈

大学院音楽研究科
音楽学専攻
修士1回生

これからの展望、夢は？
北欧の音楽はあまり研究が進んでいないため、私が研究を進めることで、北欧の音楽を始めとする芸術がかえりみられるようになればと考えています。
最近、気になることを教えてください
様々な地域の民俗音楽。他は旅行に行っているいろいろなものを自分の目で見たり、食べたり、聴いたりすることです。



在校生インタビュー



高校生活について教えてください
勉学と行事に力を注ぐ学校でお祭り好きな人が多く、私もその一人でした。声大きい、笑い声がうるさいと多々注意を受けました…
京都芸大を選んだ理由は？

憧れもあったし、自分への挑戦でもありました。家族が応援してくれていたの、それに支えられました。

受賞・入賞歴

第20回「和歌山音楽コンクール」大学生等の部：第2位

第61回「全日本学生音楽コンクール大阪大会」大学・一般の部：入選

第14回「全日本ジュニアクラシックコンクール」大学生の部：審査員賞

レッスンを行き詰まったときの対処法は？

練習している楽曲とは距離を置いて、遊ぶ。そしてたくさん笑う。それからもう一度向き合います。

京都芸大でのいちばんの思い出は？

3回生オペラです。初めて同回生の声楽家の皆と創り上げた舞台上、いろんな“初めて”を経験しました。

向井 悠

音楽学部
声楽専攻
4回生



京都芸大で学んでみて良かったことは？

他の大学に比べて人数が少ないおかげで様々な専攻の人と親密になれ、オーケストラなどの実践経験を積む機会が多く持てたことは、演奏活動をしてゆく上で強みになりました。

受賞歴・入賞歴

「タンスマン国際音楽コンクール」ファイナリスト

「ピカルディー音楽コンクール」第1位

「ル・パルナスコンクール」第1位

「UFAM国際音楽コンクール」第1位

レッスンを行き詰まったときの対処法は？

しばらく練習しないようにします。

京都芸大での一番の思い出は？

コンサートは一つ一つ思い出深いです。

就職先、または卒業／修了後の予定は？

現在、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団でフルート奏者として働いています。

これからの展望、夢は？

最近、古楽器の勉強も少し始めましたが、様々な角度から音楽を捉え、それを自分の言葉としてゆくために、もっと音楽活動の幅を広げてゆけたらな、と思っています。

江戸 聖一郎

大学院音楽研究科
器楽専攻
フルート
修士2回生



京都芸大で学んでみて良かったことは？
全国的にも貴重な少人数の学部なので、担当の先生以外にも顔を覚えて頂き、アドバイスを頂けることです。学年、専攻を問わないアットホームな雰囲気も好きです。

受賞・入賞歴

第23回「飯塚新人音楽コンクール」ピアノ部門：第3位

2004, 2006年「大阪国際音楽コンクール」いずれも第3位

「第25回記念アゼリア新人オーディション」合格・大阪センチュリー交響楽団と共演

レッスンを行き詰まったときの対処法は？

行き詰まらないように毎日を多彩にバランスよく過ごし、ピアノ以外で楽しめる時間を大切にします。

京都芸大でのいちばんの思い出は？

学部時代に同級生との企画でリコーダーや鍵盤ハーモニカでオーケストラを作って演奏したことです！自分達でアレンジを進めていく毎日がとても楽しかったです。あと、ピアノ専攻4人で八手連弾をしたのもとても思い出深いです。

金田 仁美

大学院音楽研究科
ピアノ専攻
修士2回生



京都芸大を選んだ理由は？

高校生の時にオープンキャンパスに来て、親しみやすい雰囲気とカリキュラムに惹かれ、志望しました。

京都芸大で学んでみて良かったことは？

先生方と学生との距離が近く、きめ細かくご指導いただけることです。音楽以外の分野でも、自分の活動にとって非常にためになる講義がとて多いです。また学年や専攻の垣根を超えて学生同士の仲が良いのも利点です。

受賞歴・入賞歴

2007年「第18回奏楽堂日本歌曲コンクール」作曲部門一般の部：第3位入賞

創作や研究が行き詰まったときの対処法は？
音楽以外のことに目を向ける。旅行へ行って自然にふれたり、身体を動かしたりするなかで解決の糸口が見えることもあります。

これからの展望、夢は？

ゆくゆくはオペラやミュージカルを創作したいと思っています。好きな音楽をずっと続けてこれたのも環境や周囲の人達に恵まれてのことなので、感謝の心を忘れずに、ずっと音楽を続けていきたいと思っています。

植松 さやか

大学院音楽研究科
作曲・指揮専攻
作曲
修士3回生



2008年度後期 イベントスケジュール

美術学部オープンキャンパス

- ▶ 8月2日(土) 京都市立芸術大学

音楽学部オープンスクール

- ▶ 10月18日(土)・19日(日) 京都市立芸術大学

音楽学部コンサートスケジュール

- ▶ 10月11日(土)
京都国立近代美術館ホワイエコンサートシリーズ
「オータムナイトコンサート」
会場：京都国立近代美術館ホワイエ
- ▶ 10月12日(日)
ウエステイ「音暦」
会場：京都市西文化会館ウエステイ
- ▶ 11月6日(木)
文化会館コンサート1
会場：京都市北文化会館
- ▶ 11月9日(日)
京大時計台記念館「クロックタワーコンサート2」
会場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
- ▶ 11月22日(土)
ウエステイ「音暦」
会場：京都市西文化会館ウエステイ
- ▶ 12月6日(土)
第130回 定期演奏会
会場：京都コンサートホール・大ホール
- ▶ 12月20日(土)
京都国立近代美術館ホワイエコンサートシリーズ
「クリスマスコンサート」
会場：京都国立近代美術館ホワイエ
- ▶ 1月15日(木)
第131回 定期演奏会
会場：京都市立芸術大学 講堂
- ▶ 2月16日(月)
文化会館コンサート2
会場：京都市北文化会館
- ▶ 2月21日(土)
第24回 大学院オペラ公演
会場：京都市立芸術大学 講堂
- ▶ 3月21日(土)
第38回 卒業演奏会
会場：京都市立芸術大学 講堂

日本伝統音楽研究センター「伝音セミナー」スケジュール

テーマ：「日本の希少音楽資源にふれる SP 盤にきく幻の音」
会場：京都市立芸術大学 新研究棟

- ▶ 10月2日(木)
第5回「明治期の長唄と義太夫節をきく—レコードと楽譜の接点」
● 勅進帳、十種香の五線譜採譜とレコードの接点を探ります。
- ▶ 11月6日(木)
第6回「義太夫節—美声？ 難声？」
● 義太夫節にとって美声とは何だったのか？を聴いてみます。
- ▶ 1月8日(木)
第7回「寄席の音曲芸を聴く—立花家橘之助を中心に」
● 立花家橘之助の芸を中心に寄席の音曲芸の系譜について考えます。
- ▶ 2月5日(木)
第8回「映画説明レコードとはなにか？」
● 無声映画の弁士たちの語りと音楽による再現ドラマを聴きます。

発行元：京都市立芸術大学全学広報委員会
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
TEL 075-334-2204

京都市印刷物第204243号